

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する	
重点施策ID	重点施策名	
3 - 1 - 1 - 1	広域道路網の整備	

2. 事業名等			
事業名	広域道路網整備事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	上小坂中小坂線改良事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		① ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 ()
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律
各種の計画への反映 (=根拠計画)		市道整備計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 本路線は、国道326号・県道三重弥生線・国道10号線を結び、豊後大野市と臼杵市とを直結する主要な路線である。当該箇所を整備することにより、地方拠点都市地域の豊後大野市における物流及び交流の活性化に寄与すると共に、豊後大野市内中心部の慢性的な渋滞の解消にも寄与するものである。	補助事業	名称	地方道路整備臨時交付金事業
		補助率	国 県 その他 6.5/ 10 1/ 1/
	起債の種類	① ② ③	① 過疎債

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 中九州横断道路、県道三重新殿線バイパス、広域農道に接続する市道を整備することにより、大分市や高速道路ICまでの所要時間を短縮し、広域交通ネットワークを確立する。	○上小坂中小坂線改良事業 延長400m 三重町小坂 小坂工区 延長 L=400m、幅員 W=5.5(7.0)m 現道拡幅（「歩道なし」）
【対象】 市民	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容
	E 維持

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金				16,250	52,000	32,500	
	県支出金							
	地方債				8,200	26,600	16,600	
	その他							
	一般財源計				550	1,400	900	
	計				25,000	80,000	50,000	
決算	国庫支出金				16,250			
	県支出金							
	地方債				8,200			
	その他							
	一般財源計				550			
	計				25,000			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】	【実績】	【実績】 用地測量、道路設計、地質調査	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	進捗率						
効率指標	-						
成果指標	三重町中心部から大分市間の所要時間。（国道326号から県道臼杵上戸次線の間の所要時間。但し、広域農道を通行）						単位 分
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別				所要時間	所要時間	所要時間	
目標値				40	40	39	
実績値				40			
達成率				100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	本路線は、県営大野南部広域農道事業の市施行分であり、幅員が狭小で道路勾配も厳しく、大型車の離合などに支障をきたしているため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	本路線は市道であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、市道整備計画を定め計画的、効率的に実施をしているため。また、委託業務についても、指名競争入札により発注を行っているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成20年度事業は用地測量、道路設計、地質調査が行われ、直接的には事業効果として現れていないが、全体計画から見ると事業は計画的、効率的に実施できているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	事業の予算は年度毎には多少の差異はあるが、全体的な予算の中で計画的に実施しているため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	道路改良事業は、グループ制を活用し、計画的に事業を実施しており、業務量から削減は困難であるため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	市道整備計画に基づき、計画的に事業を継続しており、現状を維持する必要があるため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	